未来の風通信

vol. 1
2022. Feb.

沼津市議会会派「未来の風」が、議会報告をお届けします。

第 11 回（令和 3 年 11 月）定例会 報告
令和 3 年 11 月 26 日～12 月 17 日開催

一般質問

江本 こうじ

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨接種再開について

2013 年 6 月以来、副反応が疑われる症状を訴える人が相次ぎ、積極的勧奨接種（国が定めたワクチンの定期接種を、各自治体が対象者に接種を呼びかける）が控えられていた**子宮頸がんワクチン接種が2022 年4 月に再開される**ことになりました。①安全性と有効性について厚労省の見解と沼津市の認識、②情報提供及び本市の実績と副反応の状況、③子宮頸がんや乳がん等の女性特有のがん検診の強化について質問しました。

❶ 安全性と有効性について

回答／最新治験により特段の懸念がなく有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから個別勧奨を実施するものとしている。本市も適正な措置であると理解しているので、予防接種法及び国の方針等に基づき、適切に個別勧奨を進めるよう対応していく。

❷ 情報提供について

回答／国から方針が示され次第、安全・安心なワクチン接種に向け、議員ご提案の内容も踏まえ詳細を検討していく。

❸ 女性特有のがん検診強化について

回答／がん検診は、特定健診、がん検診の御案内を全戸に広報ぬまづと同時配布し、広く啓発を図っている。個別の子宮頸がん検診や乳がん検診については、無料クーポン券を送付し、婦人がん検診車による集団接種では、土曜日対応や託児対応など、受診しやすい環境づくりに配慮している。市立病院では、女性コースを紹介し、検診を促すとともに、女性の医師や検査技師の希望に対応するなど、女性特有の病気への配慮にも取り組んでいる。

一般質問

山下 ふみこ

第一・第二中学校区の学校統合の一連の動きと取り組みについて

2021 年3 年6 月、第1 小に第2 小と千本小を、第1 中に第2 中を其々統合し、2023 年4 月の開校を目指すことが決まりましたが、その4 か月後に突然統合方針が廃止されました。地域からは「小中学校は地域コミュニティの核なので、教育委員会だけではなく市長も一緒に考えてほしい」という要望が出されていましたが、**市長は学校統合に関する事項は、教育委員会が責任をもって進めるべきものである**と一貫して主張しています。市長の責任性をどう考えるのか質問しました。

❶ 住民との合意形成について

教育長の回答／教育長：学校施設は地域コミュニティの重要な役割を担っている。地域との情報共有を図ることに努めたが、情報を十分に伝えきれなかったため、一部からは不信を招いてしまったと考える。

❷ 小規模校のデメリットについて

教育長の回答／複式学級や単学級におけるデメリットに係る検証データ等の実証的な根拠を明確に示すこ とはできない。しかし、単学級は人間関係が固定化されてしまう懸念など複数学級を編成する規模の学校を目指す。

❸ 統合廃止についての最終的な責任の権限は市長にあるのではないか

市長の回答／学校統合は、本来、教育委員会の所管事項であり、教育委員会が責任を持って進めるべきものである。

本質問での山下議員の発言について懲罰特別委員会が開催され、戒告処分が賛成多数で可決されました。裏面に詳細を掲載します。

本議会報告の誌面制作及び配布にかかる経費は、沼津市議会政務活動費に関する内規により、政務活動費から広報費として半額支出いたしました。

ようやく動き始めた高架化事業
工期の見通しは不明
市民への説明責任は？

R3.9 月議会

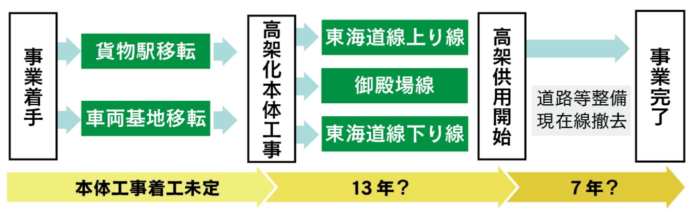
R2 年度決算一般会計における高架化関連事業について

詳細はブログで！

2022 年1 月14 日、原地区の新貨物駅の造成工事着工式が行われ、高架化事業の前提となる工事がようやく動き始めたと報道されました。川勝県知事は「今日は新しい沼津市を作るための夜明けだ」と述べましたが、**工事の見通しについて2021 年10 月5 日の決算一般会計審議で下記の答弁がありました。**

当局／今年度、埋蔵文化財調査を終えた場所から基礎地盤を整える造成工事に着手。来年度にかけて実施。また、事業主体の静岡県では、鉄道事業者の協力を得て、新貨物ターミナルの詳細設計を来年度末までに完了させ、引き続き、新貨物ターミナルの工事に着手していくと伺っている。

2022 年1 月15 日の各紙の新聞記事から、今回の工事は新貨物駅本体建設の前段階の敷地造成と調整池築造で、R 4 に完了予定。その後に予定されている高架化事業は、新貨物駅本体工事着工から13 年での事業完了をめどに、県とＪＲ側が協議を進めているとのこと。

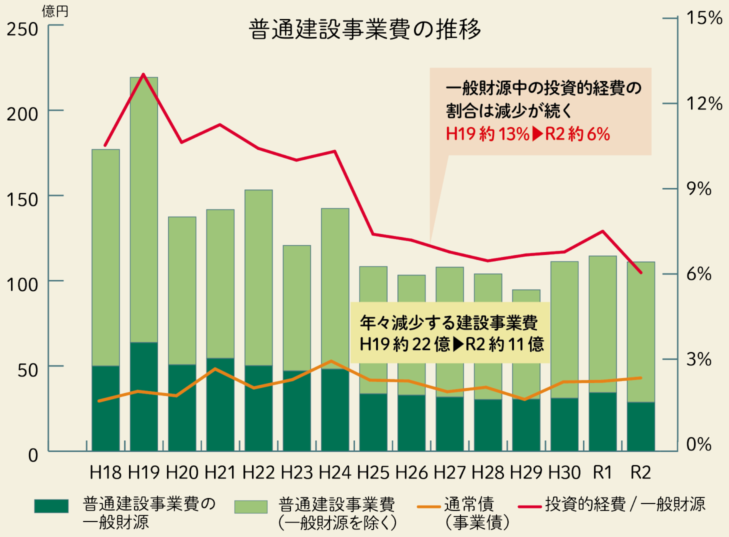


参考：2022.1.15「静岡新聞」「朝日新聞」

●工期の見通しが立たない高架事業

2004 年の事業認可から18 年かかって大きく動き出したと伝えていますが、**果たして本当に動き出せるのでしょうか。**年々一般財源が減少傾向の中、投資的経費の占める割合が減少しています。つまり、**高架事業を進めていくには、非常に難しい時代に入ったと言えるでしょう。**

学校、市営住宅、庁舎、ごみ焼却場、文化センター、市立病院などの公共施設の老朽化問題や、昨今の自然災害の甚大化への備え、一旦災害が起これば待ったなしの復旧作業がある中で、**工期の見通しが立たない高架化事業を進めること**に市民への説明責任を果たしていけるのでしょうか。



山下ふみこ LINE 公式アカウント開設！

市政報告会を開催します！

2022.2.20 ㊐ 10:00~

沼津市民文化センター 大会議室

募集 50名
（定員102名）

要申込

お申込はお電話または QR コードの専用フォームからお願いします▶

090-2344-7925（江本）　055-962-2509（山下）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、中止あるいは延期の可能性があります。
あらかじめ、ご承知おきのほど、よろしくお願いいたします。

11月議会での山下議員の発言に対する懲罰特別委員会の開催と戒告処分について

山下議員の一般質問での発言
「教育長、それは大きな間違いですよ」

山下「統合についての事務処理権限は教育委員会だが、統合する権限は市長であり、学校の設置者は誰か？
学校教育法第2条、学校は地方公共団体が設置、この場合地方公共団体を代表するのは市長か教育委員会か？」
教育長「執行機関は教育委員会」
山下「教育長、それは大きな間違いですよ。これ、執行機関……（略）」と。

　学校統合は教育委員会の所管事項だが、学校教育法第2条には、学校は国、地方公共団体が設置できるものとしています。つまり**教育委員会の職務権限は「統合の事務を処理する権限であり、その責任は市長にあるという前提で質問を展開**しました。

　一般質問がすべて終了後、山下議員の発言についての指摘が教育委員会から出され、議会として文部科学省に確認に行くので、そこで山下議員は「自分の間違いが明確であれば削除に応じる」と返答しました。

　翌々日、江本議員を除く全議員署名の山下議員に対する懲罰の動議が出されました。提案の理由は山下議員の発言が、沼津市議会の会議規則（議員は議会の品位を重んじなければならない）に反するというもの。**どの発言が該当しているかなどの具体的な内容については明らかにされませんでした。**

懲罰特別委員会での山下議員の弁明
「大きな間違いと指摘した理由」

　山下議員は「執行機関を質問したのではなく、教育長が私の質問をはぐらかしたので大きな間違い」と発言しました。しかしその理由は理解されず、教育長の論点をずらした答弁は不問に、委員会は教育長が正しい答弁をしたにもかかわらず、教育長を誹謗中傷し、侮辱する発言をしたと断定しました。

提案理由、具体的内容、発議提案者への質疑が行われない懲罰特別委員会

　懲罰特別委員会では、懲罰動議の提案理由などの具体的な内容についての説明及び発議提案者に対する質疑は、本会議で提案説明がされているため不要という理由で省略され、**何が議会の権威を汚し、何が品位を汚したのかの具体的な理由は示されませんでした。**

なお、情報公開を求める要望書が市民有志より提出され、この懲罰特別委員会は初めて傍聴が可能になり異例の約50名の市民が傍聴した。

　懲罰動議の1週間後、最終本会議にて戒告処分が可決しました。（全議員28名のうち議長と未来の風を除く25名が賛成）

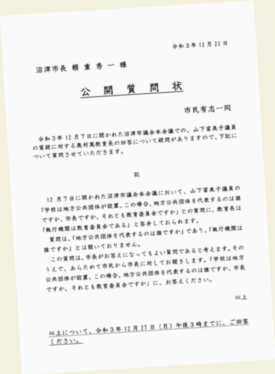
▶山下議員による一身上の弁明
弁明の全文はこちらからお読みいただけます。

問題となった一般質問はこちらから動画で見られます。（一部発言消音）

議会の言論の府としての機能を奪う懲罰の問題

　全議員賛成（議長と未来の風を除く）の懲罰は**市長と議会（議員）が対等な地方議会の二元代表制を揺るがすもの**として、多くの市民、他市の議員等から公開質問状や抗議があがっています。

各地の議員や市民からの反応



市民による市長宛の公開質問状

100名以上の全国の自治体現・元議員による沼津市議会宛の抗議文提出

「沼津朝日」誌上での市民からの意見

掲載した新聞記事や質問状についての詳細は、市民有志による公開 Facebook グループ「Let's 傍聴 Numazu」で随時報告されています。詳細はそちらをご覧ください。

未来の風通信　vol.1　2022.2

令和３年度のふるさと納税の寄附額が前年度の倍以上に増加！その仕掛け人は…？

　沼津市のふるさと納税は、2021年9月時点で、**前年度より1万件以上多い2.2万件、2.6億円**に達していました（R2年度の同時期の実績＝1.4億円　寄付件数1.1万件）。寄付額の増加に伴う事務経費や委託料等の増加で、10月の補正予算で1億9890万円の補正が組まれました。寄付額は令和3年度の当初の予測3.65億円から倍の7.55億円へ修正。さらに11億円を超える勢いで大幅に増加中です。

●「パンクチュアル」とは

株式会社パンクチュアル代表取締役　守時健氏（左下）

　寄附サイトを委託している「株式会社パンクチュアル」は人口2万人の高知県須崎市にある2020年3月設立の小さな会社です。知る人ぞ知る凄まじい成長を続けている会社と沼津市の2021年3月の出会いです。

　須崎市のふるさと納税寄付額を2014年には**200万円から**たった**1年で6億にまで伸ばした実績**があります。2020年には21億円を達成し、中四国で1位を獲得しています。

●応援する理由／「何もない」といわれていた沼津を変えたい

　沼津市に今まで欠けていた地元生産者との関係づくり。市職員と寄付サイトの管理をする委託業者パンクチュアルが、生産者の立場に立って、こだわりを聞き出し、更なる魅力掘り起こしを提案し、今までにない地域住民に密着した丁寧な取組を行っています。

●ふるさと納税の本来の目的と可能性

　この事業は、沼津市にとって寄附額の増はもとより、事業者支援としても効果が高いものです。その寄附で新たな市民のための事業を展開することによって、寄附者の気持ちを大切に活用した、**市民のための明確な目的をもった事業に繋げていくことが本来の取組**です。

　コロナ禍で売り上げが低迷している生産者にとって、インターネ ットを活用した取り組みは、今後、とても可能性を秘めた期待のできる事業に繋がっていくと確信しています。

栽培講習会の様子

愛鷹山麓の耕作放棄地をオリーブ畑へ地域ブランドを目指す！

江本こうじの地域活動

　お茶畑の耕作放棄地が年々広がりつつある愛鷹山麓で、**耕作放棄地の解消と新しい地域農産物の開発を目標にする『あしたかオリーブ研究会(AOL)』**に参加しています。

　AOLの活動は2016年にスタートし、今は地域の農家や有志約10人が参加。合わせての約2ヘクタールの茶園を再生し、約800本のオリーブを栽培しています。苗の共同購入や栽培研究、視察研修などを定期的におこない、今後はオリーブオイルや加工食品の共同製造、地域ブランドとしての販売などを目標にしています。

視察研修（中央が江本）